



ナミアゲハ
8.6.R5 稲佐山公園

乾燥中



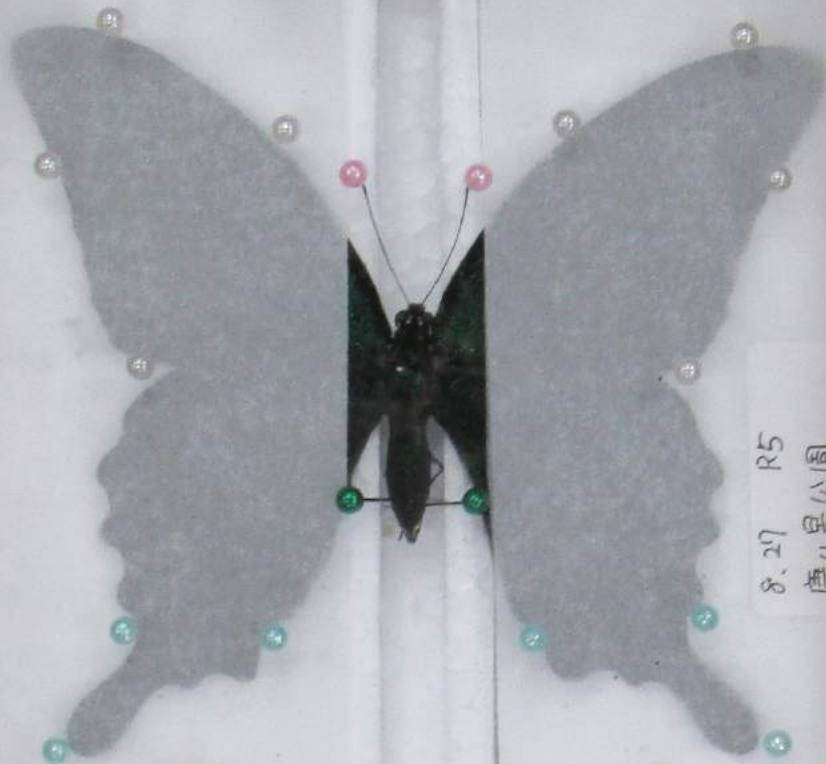
8.27 R5
唐八景公園



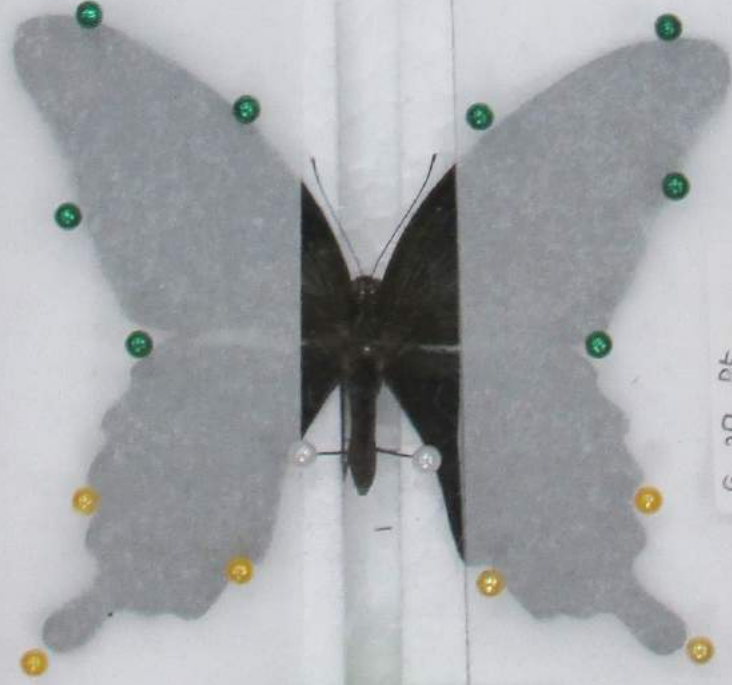
8.27 R5
唐八景公園



8.27 R5
唐八景公園



8.27 R5
唐八景公園



8.27 R5
唐八景公園

乾燥中

蝶の標本づくり

3年

SKETCH BOOK

[分類] 採集

[品目]

蝶の標本づくり

3 学年

氏名 ()

動機

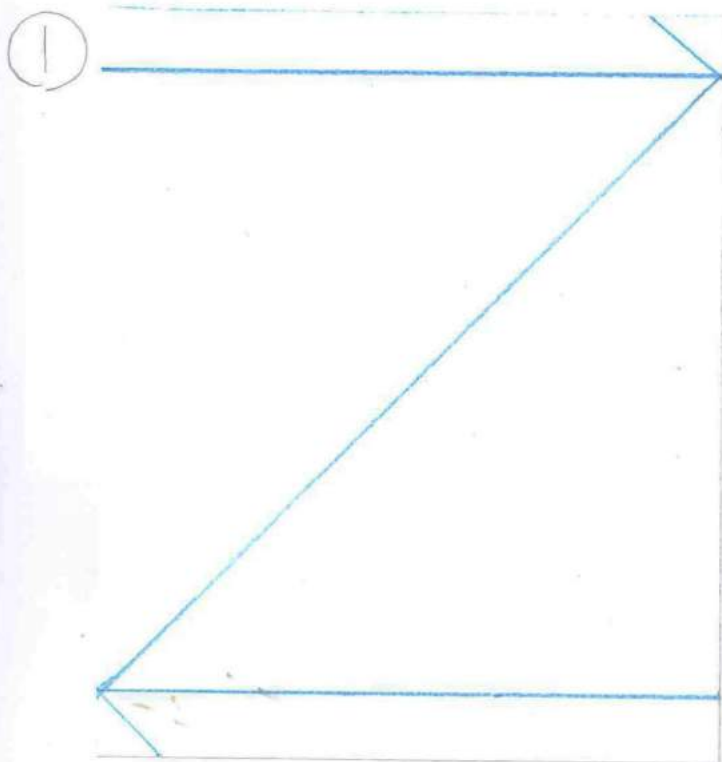
家の駐車場に飛きた水たまりの水を飲にきた蝶に魅惑を感じ、興味をもって家でも虫葉をみていたいと思ったから。

使う物

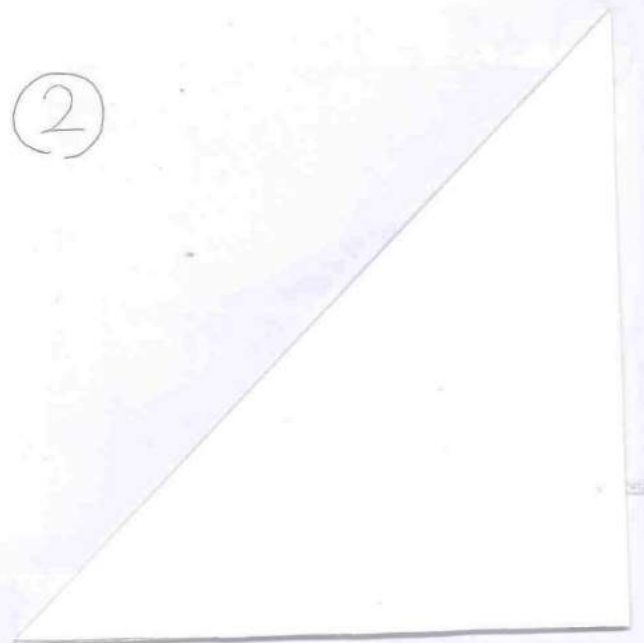
・三角紙* ・ 展翅テープ (クッキングシート)

・虫ピン ・ マチ針 ・ ピンセット ・ 展翅板*

三角紙の作り方



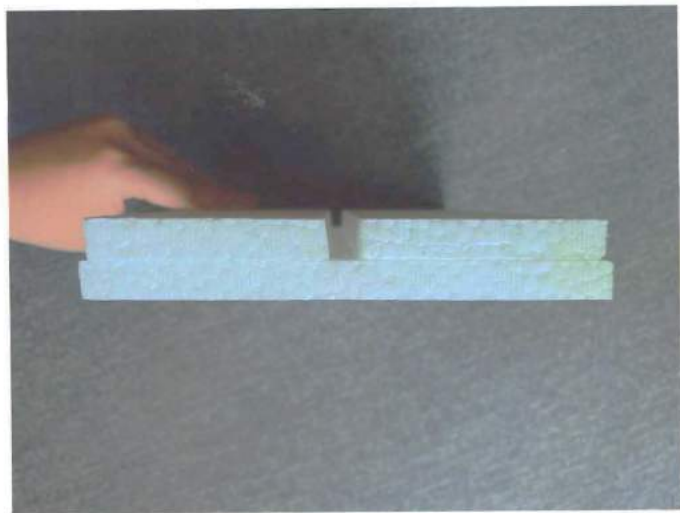
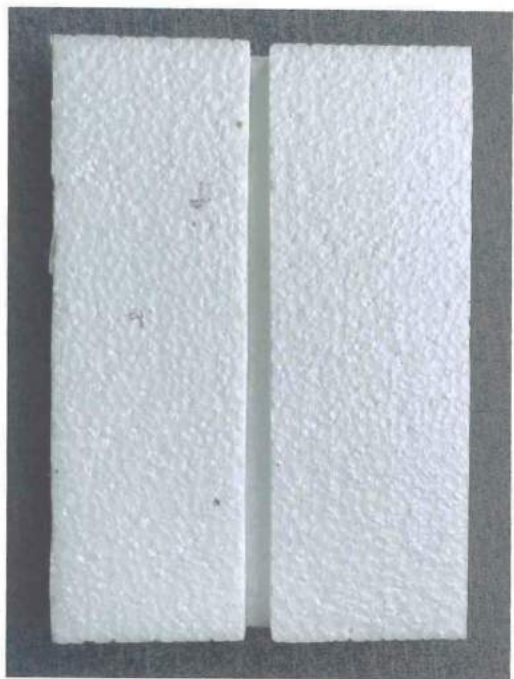
②



①で書いた線を全て谷折りで折る。

*クッキングシートが貼れなかったら折り紙を保てます。

展翅板の作り方



発泡スチロールを細長く切ったものを2本用意し、1cm程の隙間を空け台になる発泡スチロールに貼る。

標本の作り方

① 蝶の採集



羽を背中合わせに閉じた状態で胸部を強くつまんで圧迫する。



採集した蝶は、頭についている2本の触覚が折れないように、触覚を羽に沿わせて包む。

② 虫ピン

虫ピンを胸部の背中側から、前から見ても横から見てもまっすぐになるように針をさす。



③ 展翅板



虫ピンをさした蝶を、展翅板の中央の溝の真ん中にまっすぐさす。

羽の付け根が展翅板の板の上の面とちょうど同じになるように蝶の高さを調節する。

④ 展翅テープ

羽を上から押さえるように展翅テープで羽を覆う。



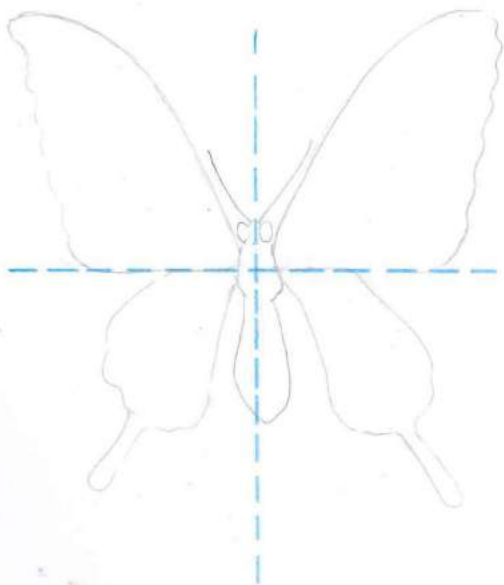
⑤ 固定

展翅針を使って羽の脈に展翅針を引っかけて羽を動かす。

この時、羽が元にもとらないように、展翅テープをピンと張る。

羽の位置は、前翅の後端が展翅板の溝と直角になるようにする。

羽の位置が決まったら、羽の近くのテープにマチ針をさしてテープで羽を押さえるように、固定する。



⑥ 記録

展翅が終わったら、1頭ずつどこで採集したか分かるようにメモしておく。



⑦ 乾燥

風通しの良い日陰で、ダンボールに防虫剤と、いっしょに入れて、2~4週間乾燥させる。

⑧ 完成



感想

標本をつくるのは初めてで、蝶の羽の扱いが難しかったり、標本をつくる前は、虫を触ることに抵抗があったが、今は、より蝶に魅力を感じ様々な種類の蝶を標本にしたいと思った。また、標本を作っていて同じ種類の蝶でも少しずつ模様がちがっていたり雄と雌の体や羽の違いがみれておもしろかった。

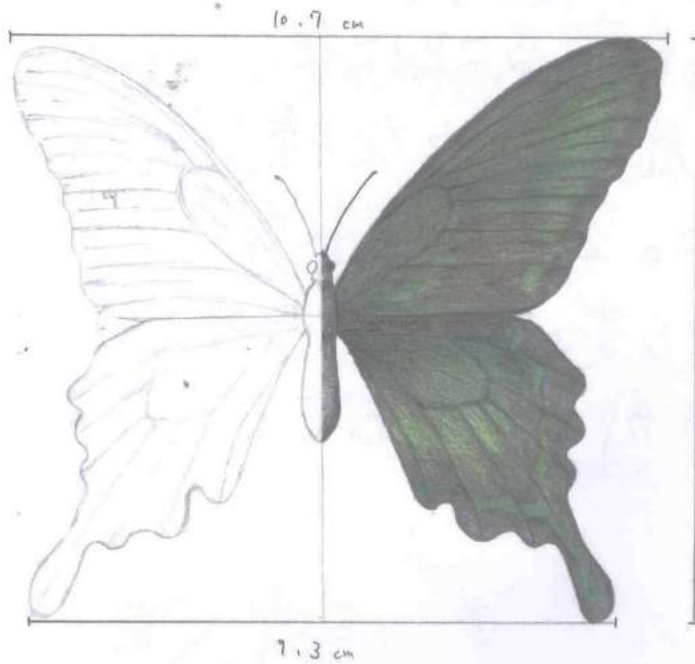
反省

9月までには、すべての蝶を標本にしておきたかったが、暑くて蝶が7月と8月の前半少なかったのもう少し涼しい時期から取り組むべきだと思った。

蝶を捕まえて

蝶の飛ぶスピードがすごく速くて捕まえるのが大変だった。特にアゲハたちは捕まえるのに2時間程かかった。気になって蝶の飛ぶスピードを調べるとモンシロチョウの仲間で時速約9km、アゲハで時速約30kmになることを知って驚いた。

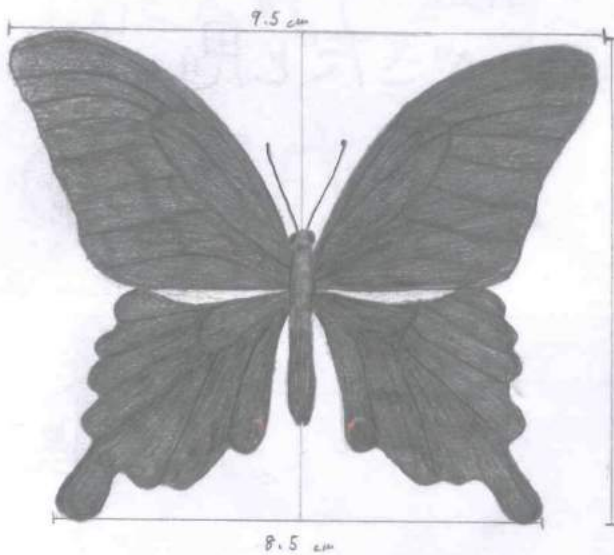
捕まえた蝶の特徴と実際の大きさ



。カラスアゲハ

科名 アゲハチョウ科

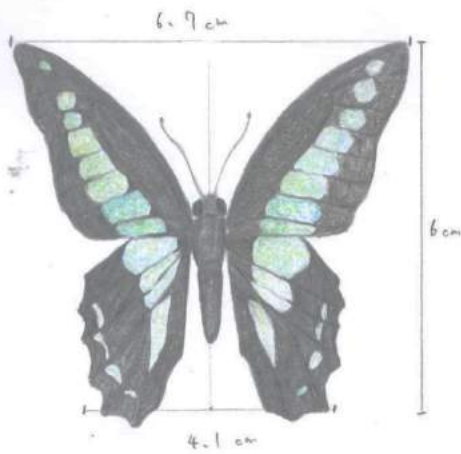
9.5cm 特徴 全体が黒色で、羽のおもてに青と緑色が広がっている。



。クロアゲハ ♂

科名 アゲハチョウ科

8cm 特徴 羽の表が真っ黒で、オスは後ろ羽のつけ根に白い紋がある。



・アオスジアゲハ

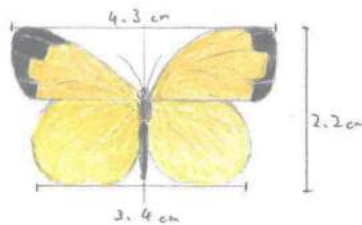
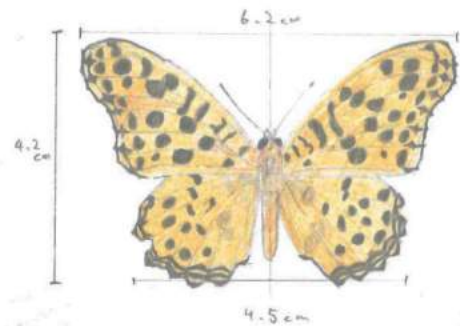
科名 アゲハチョウ科

特徴 アゲハチョウ科の中で最も
シャープでスマートな形をして
いる。

・ツマグロヒョウモン

科名 チョウ目タテハチョウ科

特徴 ヒョウ柄のはねが特徴で
他のヒョウモンチョウ類と似て
いるが後ばねのふちに黒いフリル
 모양があるかどうかで区別できる。



・キチョウ (夏型)

科名 シロチョウ科

特徴 はねの黄色と黒色の帯が
特徴。